



のぎわっ子

令和5年度学校だより
磐田市立東部小学校
令和5年10月6日

彼岸を過ぎて30度を超えるような暑さが残る9月末、もう少し涼しくならないかな…と秋を待ち遠しく感じます。2学期には、各学年の体験的な学びが充実しています。実際に見て・感じて・聞いて・触って…という体験は、頭で考えるだけよりも子供の記憶にのこります。校外学習などから帰ったお子さんに、どんな学びがあったのか聞いてみてください。

また10月末の運動会に向けた準備も少しずつ進んでいます。ホームページでも、御紹介してまいりますので、ぜひ御覧ください。



K（きれい）T（ともだち）A（あいさつ）を輝かそう

9月6日に、4年生から6年生の子供たちが、縦割りの「のぎわ活動」で「KTAを輝かそう」というテーマで話し合いをしました。これまで、各学級や学年で「自分たちにできるKTA」について考えそれぞれで取り組んでいましたが、学年の枠を超えて話し合うことで、ますます東部小全員で創る「KTA」という宝物について意識と意欲を高めた時間になりました。



このような意見が発表されました。

学校の自慢ができる・みんなの仲が深まり、学校も楽しくなる

大人になってもKTAが役立つ

みんなが笑顔になれる・悲しいときこまったとき、

助けてくれる友だちがいる

みんなの心がきれいになり学校もきれいになる

運動場と外がきれいになる・心がきれいになる

挨拶をするとみんなが楽しく生活できる

学校中が元気になる・勉強しやすくなる

あいさつをすると相手も自分もうれしくなる

地域の人と仲良くなれる・友情の輪が広がる

そもそも「KTA」とは？

平成8年度、企画委員の子供たちが発案したそうです。きれい・ともだち・あいさつがいっぱいの学校を目指し、前項のみんなに伝えるため、一週間毎日のように話し合い「KTA」が生まれたそうです。

そして、今、徳育の目標「自分・他者のことを考え、温かな心でつながる」に向かい、各学年や学級で、子供たちが進んでチャレンジできるKTAの活動が充実しています。1年生の子供たちも、右の「KTA マスター」で自分のチャレンジを振り返り、KTAを輝かせています。

